

かかりつけ歯科医のための

口腔機能低下症

入門

【監修】

一般社団法人日本老年歯科医学会

【編著】

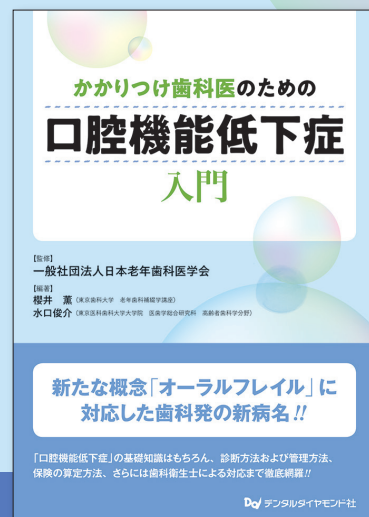
櫻井 薫(東京歯科大学 老年歯科補綴学講座)

水口俊介(東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野)

新たな概念「オーラルフレイル」に対応した歯科発の新病名!

平成30年度の歯科診療報酬改定で「口腔機能低下症」が保険収載され、注目を集めている。口腔機能低下症は、う蝕や歯周病のみならず、加齢や全身疾患、薬剤の副作用などによっても修飾され、複雑な病態を呈することが多い。そのため、全身状態や生活習慣の改善など、多面的なアプローチが必要となる。本書では「口腔機能低下症」の基礎知識と、診断に欠かせない7つの検査項目を詳細に解説している。今後、かかりつけ歯科医として患者の変化を見逃すことなく、的確なアドバイスを行うことが求められる。また、保険の算定方法や歯科衛生士との連携についても網羅した「口腔機能低下症」の入門書。

B5判・116頁・オールカラー 本体5,600円+税



CONTENTS

1章 口腔機能低下症とは

- 「口腔機能低下症」が求められる時代背景
- 口腔機能低下症とはどのような病気か

2章 口腔機能低下の診断基準となる7項目

- 口腔衛生不良
- 低舌圧
- 口腔乾燥
- 咀嚼機能低下
- 咬合力低下
- 嚥下機能低下
- 舌口唇運動機能低下

3章 口腔機能低下症の管理と多職種連携

- 口腔機能低下症の診断および患者管理と再評価の流れ
- 低栄養の診断方法とその対応
- 口腔機能管理における歯科衛生士の役割
- 歯科衛生士の現場での取り組みと多職種連携

4章 保険診療での検査と口腔機能管理

- 保険算定時のポイント

詳しい
情報は
こちら